

Summit / Symposium & Panel discussion

全国路地サミット2022in長崎

立体路地のまち長崎から
路地の魅力を考える

長崎
初開催

2022/11/19(Sat.)・20 (Sun.)

■1日目 11月19日 (土)

(1)シンポジウム：会場 長崎県美術館2階ホール

長崎県美術館：長崎県長崎市出島町2番1号 TEL:095-833-2110

13:00～受付開始

14:00～基調講演・演題「長崎的路地裏の楽しみ方」講師 山口広助氏(長崎の歴史風俗研究家)

15:00～パネルディスカッション演題「路地空間の魅力を次世代と考える」

- ・パネラー1：大分大学理工学部 姫野由香先生
- ・パネラー2：NPO長崎コンプラドール 桐野耕一理事長
- ・コーディネーター：長崎都市景観研究所 平山広孝所長

(2)交流会 18:00～出島ワーフ カフェレストランattic(アティック)

(3)オプション まち歩きナイトツアー 20:00～(約1時間30分程度)

- ・Aコース：夜景景観路地さるく(NPO長崎コンプラドール 担当：桐野耕一理事長)
- ・Bコース：思案橋界隈路地さるく(NPO長崎コンプラドール 担当：田中潤介事務局長)
- ・Cコース：アーティストと出会う銅座界隈アーツ&スナック(長崎都市景観研究所)



基調講演講師
山口広助氏

■2日目 11月20日 (日)

(4)エクスカージョンツアー(希望者) 10:00～12:00

- ・Dコース：長崎立体斜面路地散策(長崎都市景観研究所 担当：平山所長)
- ・Eコース：長崎人に人気の丸山ぶらぶら(歴史風俗研究家山口広助氏)※市外の方優先
- ・Fコース：ねこさるく(NPO長崎コンプラドール 担当：川良真理副理事長)※早朝7:00～9:00
- ・Gコース：駅チカの聖地さるく(NPO長崎コンプラドール 担当：平浩介理事、貞住史華理事)

■参加費：2日間通し 8,000円/人(交流会食事代、オプション、エクスカージョン込み)

■参加お申し込み：右→のQRコードから専用フォームで申し込みください。

■主催：全国路地サミット2022in長崎実行委員会・実行委員会：長崎市(まちづくり部都市計画課、景観推進室、まちなか事業推進室、観光交流推進室)、NPO法人長崎コンプラドール、(一社)ナガサキベイデザインセンター
長崎都市・景観研究所/NULL、斜面地・空き家活用団体つくるほか

■後援：全国路地のまち連絡協議会

■お問い合わせ：実行委員会事務局 Fax/095-804-8953 MAIL/nagasaki.b.d.c.001@gmail.com

参加申し込み
↓QRコードから



コロナ感染症対策を実施して開催いたします。マスク着用をお願いします。体調がすぐれない方はご参加をご遠慮ください。

2022全国路地サミットイン長崎 登壇者のご紹介

基調講演

・山口広助（やまぐち・ひろすけ）氏／長崎の歴史風俗研究家。1970年長崎市丸山町に生まれ。1993年東海大学工学部土木工学科卒業。1993年株式会社鹿島道路横浜支店入社。1998年料亭青柳入社。2020年有限会社青柳取締役就任。地元丸山町で20年以上自治会役員を務め、自治会の振興や梅園天満宮の再興に尽力。長崎の歴史風俗の研究家として、2006年開催の「長崎さるく博'06」市民プロデューサーを務め、まち歩きガイドとしても活躍。現在は小学校などのゲストティーチャーや講演活動において長崎の魅力を幅広く伝えている。長崎文献社『ヒロスケながさき100のひみつ』より

パネルディスカッション

パネラー・1

・姫野由香（ひめの・ゆか）氏／国立大学法人大分大学理工学部創生工学科建築学コース助教。1975年大分市生まれ。大分大学大学院工学研究科建設工学専攻を修了後、大分大学工学部建設工学科助手を経て、2008年より現職。研究分野は建築・都市計画、景観、観光、まちづくり、中心市街地再生、離島振興など。別府市をフィールドとした研究も多く、近年発表の論文は「温泉観光地における民泊施設の立地分析と住民評価の実態」（共著）。文化庁芸術文化振興基金運営委員、大分県環境影響評価委員、大分県景観計画策定委員ほか公職多数。

パネラー・2

・桐野耕一（きりの・こういち）氏／NPO法人長崎コンプラドール理事長。1955年長崎市生まれ。2006年「長崎さるく博'06」スタート時の立ち上げメンバーで市民プロデューサー。現在も旧外国人居留地一帯を中心にまち歩きガイドを務め、一般社団法人日本まちあるき協会代表理事として全国のまち歩きもサポートしている。長崎市景観まちづくり連絡協議会会長、長崎居留地歴史まちづくり協議会会長、長崎居留地まつり実行委員長、一般社団法人ナガサキベイデザインセンター理事、長崎居留地男声合唱団団長も務める。長崎市における市民活動の第一人者。

コーディネーター

・平山広孝（ひらやま・ひろたか）氏／長崎都市・景観研究所（null）所長。1985年長崎市生まれ。九州大学芸術工学府デザインストラテジー専攻修了。専門は景観まちづくりとパブリックデザイン。学生時代に長崎固有のコンパクトさや景観の価値に気づき、2010年3月に長崎都市・景観研究所／nullを設立。タクティカルアーバニズムの手法を取り入れた活動を実践。最近では斜面地市街地の空き地を市民農園として再生する「さかのうえん」等に取り組む。一方で、2011年4月に長崎市役所に入庁。環長崎港夜間景観向上基本計画や長崎市歴史的風致維持向上計画の策定を担当。公民二足の草鞋を履いて長崎の街を奔走する。

長崎市中心部 MAP

